



2026年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年9月7日

上場会社名 萩原工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 7856 URL <https://www.hagihara.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浅野 和志
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員事業支援部門長 (氏名) 藤田 学 TEL 086-440-0860
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年10月期第3四半期の連結業績（2025年11月1日～2026年7月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年10月期第3四半期	25,110	4.4	1,841	38.2	2,157	45.0	1,494	△4.0
2025年10月期第3四半期	24,044	△1.5	1,332	△22.5	1,488	△23.1	1,557	20.8

(注) 包括利益 2026年10月期第3四半期 2,122百万円 (38.4%) 2025年10月期第3四半期 1,533百万円 (△10.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年10月期第3四半期	106.19	105.49
2025年10月期第3四半期	111.68	110.79

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年10月期第3四半期	44,846	32,142	71.5
2025年10月期	42,734	30,965	72.3

(参考) 自己資本 2026年10月期第3四半期 32,081百万円 2025年10月期 30,900百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年10月期	—	30.00	—	35.00	65.00
2026年10月期	—	35.00	—		
2026年10月期（予想）				40.00	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年10月期の連結業績予想（2025年11月1日～2026年10月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	9.6	2,100	43.1	2,200	21.1	1,500	△16.4	107.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年10月期3Q	14,897,600株	2025年10月期	14,897,600株
② 期末自己株式数	2026年10月期3Q	788,874株	2025年10月期	835,373株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年10月期3Q	14,077,090株	2025年10月期3Q	13,947,645株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は当社ウェブサイトにて同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(重要な後発事象)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、雇用・所得環境の改善等を背景として緩やかな回復基調にあります。米国の通商政策の影響やインバウンドの変調などの影響に加え、中東情勢の混乱による各種資材等の価格高騰や供給制約が見られました。中東情勢の影響については、一定の落ち着きは見せているものの、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、物価上昇や人手不足に伴う需要の減少に直面しましたが、高付加価値製品の開発と販売強化、環境関連や海外市場など成長分野への注力などを通じて、収益確保に努めてまいりました。また中東情勢の混乱による原材料調達への影響が生じましたが、製品の安定供給を最優先に事業運営を行いました。

その結果、売上高251億10百万円（前年同四半期比4.4%増）、営業利益18億41百万円（前年同四半期比38.2%増）、経常利益21億57百万円（前年同四半期比45.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は14億94百万円（前年同四半期比4.0%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益が減少している理由は、前第3四半期連結累計期間において笠岡工場建設に伴い交付決定された補助金8億円を特別利益に計上したためであります。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

[合成樹脂加工製品事業]

合成樹脂加工製品事業におきましては、総じて原材料価格高騰に伴う価格改定の浸透や中東情勢を受けた追加需要が増収要因でした。さらに、耐候・遮熱などの高機能化製品が伸びたシート、大口顧客との取引復活があったフレコン関連、農業資材用遮熱原糸、人工芝原糸などは需要も伸びて増収となりました。また、粘着用原反、包装資材用メルタックは需要が伸び悩んだものの価格改定効果で増収となりました。一方、米国の通商政策の影響で海外向けラミクロスは減収となりました。

コンクリート補強繊維の「バルチップ」は、鉱山向けに価格競争が厳しくなる中、道路舗装向けなど新たな需要を取り込み、増収となりました。

インドネシア子会社「ハギハラ・ウエストジャワ・インダストリーズ社」におきましては、価格改定効果に加え、主要製品であるバルチップの販売増もあり増収となりました。国内子会社の「東洋平成ポリマー株式会社」におきましては、フィルム関係の販売が好調で増収となりました。

その結果、売上高214億61百万円（前年同四半期比8.7%増）、営業利益15億29百万円（前年同四半期比44.2%増）となりました。

[機械製品事業]

機械製品事業におきましては、主力のスリッターは、投資需要の低迷する中国向けが低調だったことなどにより、紙スリッター、フィルムスリッターともに減収となりました。

押出関連機器では、リチウムイオン電池セパレーター用スクリーンチェンジャーなどの販売があり、増収となりました。リサイクル関連では、ブルーシートの水平リサイクル技術で開発した高度洗浄設備の初の販売などがあり、増収となりました。

その結果、売上高36億49百万円（前年同四半期比15.1%減）、営業利益3億12百万円（前年同四半期比14.8%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

資産の部では、流動資産は232億64百万円となり、前連結会計年度末に比べ21億28百万円の増加となりました。これは主に現金及び預金が15億24百万円減少した一方、棚卸資産が22億58百万円増加したこと等によります。

固定資産は215億82百万円となり、前連結会計年度末に比べ15百万円の減少となりました。これは主に機械装置及び運搬具が94百万円減少したこと等によります。

負債の部では、流動負債は92億39百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億11百万円の増加となりました。これは主に支払手形及び買掛金が11億48百万円増加したこと等によります。

固定負債は34億64百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億76百万円の減少となりました。これは主に長期借入金が5億58百万円減少したこと等によります。

純資産の部は321億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億77百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金が5億2百万円及び為替換算調整勘定が6億97百万円増加したこと等によります。この結果、自己資本比率は71.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月8日に公表いたしました業績予想の変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,857,015	4,332,630
受取手形及び売掛金	5,071,603	5,706,857
電子記録債権	2,521,257	3,134,153
商品及び製品	2,662,124	3,238,428
仕掛品	2,636,687	3,313,565
原材料及び貯蔵品	1,505,623	2,511,095
その他	943,317	1,073,852
貸倒引当金	△61,027	△45,950
流動資産合計	21,136,603	23,264,633
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,575,414	7,398,212
機械装置及び運搬具（純額）	5,670,238	5,575,416
工具、器具及び備品（純額）	399,705	578,016
土地	3,677,186	3,677,186
建設仮勘定	1,107,975	1,180,983
有形固定資産合計	18,430,520	18,409,815
無形固定資産		
のれん	58,333	39,583
その他	452,539	516,490
無形固定資産合計	510,872	556,073
投資その他の資産		
繰延税金資産	36,076	95,615
退職給付に係る資産	1,571,298	1,574,638
保険積立金	307,657	313,481
その他	741,656	632,742
投資その他の資産合計	2,656,688	2,616,477
固定資産合計	21,598,082	21,582,366
資産合計	42,734,685	44,846,999

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,711,606	2,860,023
電子記録債務	1,418,791	945,433
短期借入金	1,710,315	2,074,839
未払法人税等	340,589	510,629
賞与引当金	641,757	376,265
製品保証引当金	55,298	54,173
その他	1,949,832	2,417,947
流動負債合計	7,828,190	9,239,311
固定負債		
長期借入金	2,813,030	2,254,697
退職給付に係る負債	871,642	899,739
その他	256,448	310,479
固定負債合計	3,941,120	3,464,916
負債合計	11,769,311	12,704,227
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,778,385	1,778,385
資本剰余金	1,472,428	1,469,882
利益剰余金	26,621,678	27,124,296
自己株式	△1,063,722	△1,005,517
株主資本合計	28,808,769	29,367,046
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	69,057	124,989
繰延ヘッジ損益	△4,901	△631
為替換算調整勘定	1,212,149	1,909,600
退職給付に係る調整累計額	815,399	680,316
その他の包括利益累計額合計	2,091,705	2,714,276
新株予約権	40,416	32,132
非支配株主持分	24,481	29,316
純資産合計	30,965,374	32,142,771
負債純資産合計	42,734,685	44,846,999

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年11月1日 至 2026年7月31日)
売上高	24,044,071	25,110,751
売上原価	17,541,495	18,100,818
売上総利益	6,502,575	7,009,933
販売費及び一般管理費	5,169,790	5,168,439
営業利益	1,332,784	1,841,493
営業外収益		
受取利息	17,838	28,582
受取配当金	5,295	6,645
受取保険金	25,672	21,949
為替差益	53,441	242,458
試作品等売却収入	20,418	21,617
その他	96,645	80,425
営業外収益合計	219,311	401,678
営業外費用		
支払利息	34,853	31,832
その他	28,592	53,470
営業外費用合計	63,446	85,303
経常利益	1,488,649	2,157,867
特別利益		
補助金収入	800,000	—
特別利益合計	800,000	—
税金等調整前四半期純利益	2,288,649	2,157,867
法人税等	734,285	658,927
四半期純利益	1,554,363	1,498,939
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,363	4,037
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,557,727	1,494,902

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年11月1日 至 2026年7月31日)
四半期純利益	1,554,363	1,498,939
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,164	55,931
繰延ヘッジ損益	3,625	4,270
為替換算調整勘定	55,358	698,248
退職給付に係る調整額	△94,996	△135,082
その他の包括利益合計	△20,847	623,367
四半期包括利益	1,533,516	2,122,307
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,536,701	2,117,473
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,185	4,834

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年11月1日 至 2025年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	合成樹脂 加工製品事業	機械製品事業	計		
売上高					
日本	13,656,286	3,265,000	16,921,287	—	16,921,287
アジア	2,543,516	1,024,598	3,568,114	—	3,568,114
北アメリカ	1,271,157	3,107	1,274,264	—	1,274,264
南アメリカ	1,214,468	—	1,214,468	—	1,214,468
ヨーロッパ	422,335	2,364	424,699	—	424,699
オセアニア	631,289	—	631,289	—	631,289
アフリカ	8,222	1,724	9,947	—	9,947
顧客との契約から生じる収益	19,747,275	4,296,795	24,044,071	—	24,044,071
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	19,747,275	4,296,795	24,044,071	—	24,044,071
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	427,312	427,312	△427,312	—
計	19,747,275	4,724,108	24,471,384	△427,312	24,044,071
セグメント利益	1,060,849	271,934	1,332,784	—	1,332,784

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年11月1日 至 2026年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	合成樹脂 加工製品事業	機械製品事業	計		
売上高					
日本	14,898,016	2,969,586	17,867,602	—	17,867,602
アジア	2,452,712	526,081	2,978,794	—	2,978,794
北アメリカ	1,313,998	152,796	1,466,794	—	1,466,794
南アメリカ	1,707,398	—	1,707,398	—	1,707,398
ヨーロッパ	438,746	1,188	439,935	—	439,935
オセアニア	637,356	—	637,356	—	637,356
アフリカ	12,869	—	12,869	—	12,869
顧客との契約から生じる収益	21,461,098	3,649,653	25,110,751	—	25,110,751
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	21,461,098	3,649,653	25,110,751	—	25,110,751
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	23,272	23,272	△23,272	—
計	21,461,098	3,672,925	25,134,023	△23,272	25,110,751
セグメント利益	1,529,353	312,139	1,841,493	—	1,841,493

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年11月1日 至 2026年7月31日)
減価償却費	1,533,308千円	1,645,533千円
のれんの償却額	18,749	18,749

(重要な後発事象)

当社は、本日開催の取締役会において、株式会社日本政策投資銀行との間で、資本業務提携契約を締結し、同行を割当予定先とする第三者割当による自己株式の処分を行うことを決議しました。

本件の詳細につきましては、本日公表の「資本業務提携契約の締結、第三者割当による自己株式の処分並びに主要株主及び主要株主である筆頭株主の異動に関するお知らせ」をご参照ください。